

平成17年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年8月16日

会社名 アンドール株式会社 (コード番号：4640登録銘柄)

(URL <http://www.andor.co.jp/>)

代表者役職名 代表取締役

氏名 森田 聡

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長

氏名 生田 経一

(Tel : (03) 5211 - 8011)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の

最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 ・ 無

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 売上高 (単位：百万円未満切捨て)

	百万円	%
17年3月期第1四半期	404 (41.4)	
16年3月期第1四半期	286 ()	
(参考) 16年3月期	1,386 ()	

(注) 1. 前年の第一四半期は四半期決算導入の初年度であるため、前年同四半期の増減率につきましては記載しておりません。

[売上高又は売上高に相当する事項に関する補足説明]

平成14年、SI企業の東京コンピュータサービス株式会社及び同グループとの資本提携を機に、経営の安定化と新たな成長軌道を目指して経営改革に取り組んで参りました。当期は事業拡大のスピードアップと効率化を目的として、平成16年4月には京滋支店を、同年5月に東京支店を新設して、積極的な事業拡大をはかっております。

当第1四半期の売上高は、前年同期比41.4%増の404百万円となり、ほぼ計計画通りに推移しております。

[エンジニアリングサービス事業]

当社は、従来からのCAD/CAM製品を中心としたパッケージソフト開発・販売に偏重した事業構造から脱却し、事業の多様化と対象市場の拡大による安定的且つ持続的な成長を目指して経営改革に取り組んでおりますが、当該改革の柱として位置付け、新規事業として注力しておりますエンジニアリングサービス事業は順調に拡大し、全体での比重を高めております。この事業は、お客様の多様な問題解決を支援するもので、特に製造業にターゲットを絞った生産性向上のためのコンサルティング、コスト低減・技術補完に貢献する機構設計、回路設計、組込み開発、光ピックアップ製造等のエンジニアリング・サービスを内容としております。

とりわけ今後とも市場の拡大が見込まれるデジタル家電、自動車関連向けの比重

を高め、スキルの向上と技術者の拡充に努めております。

このエンジニアリングサービス事業が全体売上高の 60%を占め前年同期比 2 倍の 2 4 2 百万円となり、安定的且つ持続的な成長に大きく寄与いたしております。

[プロダクツ関連販売事業]

永く市場からご支持いただいておりますヒット商品 CADSUPER シリーズはじめ、DesignFlow/Extractor, EasyDraw 等 CAD/CAM 製品においてユーザーニーズをより積極的に取り込んで市場の深耕に注力しております。加えて、Web(World wide web) によって全文書や図面を管理するシステムであります「Web リスト」をリリースし、対象市場の拡大に努めております。

この結果、プロダクツ関連販売事業の売上高は 1 6 1 百万円となり、概ね計画通りに推移いたしております。

第一四半期の部門別売上高及び対前年同期比伸び率

	百万円 (構成比)	前年同期比伸び率
プロダクツ関連販売事業 売上高	1 6 1 (40.0%)	0.0%
エンジニアリングサービス 事業売上高	2 4 2 (60.0%)	96.5%
合 計	4 0 4 (100%)	41.4%

従来の事業部門を下記の通り変更いたしました。

パッケージソフト部門、システム商品部門、導入運用サービス部門を統合してプロダクツ関連販売事業部門に変更いたしました。

旧ソリューション事業部門の名称をエンジニアリングサービス事業部門に変更いたしました。

新事業部門		旧事業部門	
	プロダクツ関連販売事業		パッケージソフト システム商品 運用導入サービス
	エンジニアリングサービス事業		ソリューション事業

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません

3 . 平成 1 7 年 3 月期の連結業績予想 (平成 1 6 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 7 年 3 月 3 1 日)

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	7 5 0	2 5	1 5	2 8 9
通 期	1, 7 0 0	8 0	4 4	8 4 9

上記予想は、平成 1 6 年 5 月 21 日付にて発表しました「平成 1 6 年 3 月期決算短信 (連結)」の業績予想と変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上